

公共事業再評価調査

整理番号 h17 - 7

担当部課名	農林水産部 農村整備課	電話番号	0 1 7 - 7 3 4 - 9 5 4 5
		E - MAIL	noson @ags.pref.aomori.jp

再評価実施要件	未着工 長期継続 (5 年) 再評価後 (年) その他 ()
---------	-------------------------------------

1 事業概要

事業種別	農業農村整備事業	事業主体	県 市町村 その他 ()																																																
事業名	県営ため池等整備事業	地区名等	サビシロ沼 市町村名 つがる市 (旧車力村)																																																
事業方法	国庫補助 県単独 財源・負担区分	国 50.0 % 県 36.9 % 市町村 13.1 %	その他 %																																																
採択年度	平成 12 年度 (用地着手 平成 13 年度 / 工事着手 平成 13 年度)																																																		
終了予定年度	平成 18 年度 (平成 16 年 4 月 工期変更 当初計画時 平成 15 年度)																																																		
事業目的	<p>本地域は稲作への依存度が高い地域で、1 級河川山田川水系沿いに位置している。用水は大小多くのため池に依存しており、本地区も本ため池 (サビシロ沼) に依存している。</p> <p>本地区は、つがる市車力町 (旧：車力村) の中心部に位置する築造年不明の老朽ため池である。</p> <p>現況堤体は漏水が著しく余裕高も不足、取水施設や底樋も老朽化が進み、洪水吐の流下能力不足などから、ため池の決壊が懸念され、決壊時には、農地・農業用施設をはじめ、人家や公共施設にも湛水被害を及ぼす恐れがある。</p> <p>この被害を未然に防止するため、本事業で改修整備を行うものである。</p>																																																		
主な内容	<table border="1"> <thead> <tr> <th>区 分</th> <th>当初計画時</th> <th>再評価時</th> <th>増 減</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>堤体工</td> <td>125.0 m</td> <td>115.5 m</td> <td>9.5 m</td> </tr> <tr> <td>取水施設工 (洪水吐工兼用)</td> <td>1 箇所</td> <td>1 箇所</td> <td>0 箇所</td> </tr> <tr> <td>底樋工</td> <td>22.0 m</td> <td>23.4 m</td> <td>1.4 m</td> </tr> </tbody> </table> <p>堤体工、底樋工の延長増減は、工実施時の精査による。</p> <p>堤体工は沈下分の盛土量増により18,600千円の増額。</p> <p>取水施設工は基礎杭本数減およびゲート設備費の減により7,700千円の減額。</p> <p>底樋工は付帯設備工の減により18,900千円の減額。</p>			区 分	当初計画時	再評価時	増 減	堤体工	125.0 m	115.5 m	9.5 m	取水施設工 (洪水吐工兼用)	1 箇所	1 箇所	0 箇所	底樋工	22.0 m	23.4 m	1.4 m																																
区 分	当初計画時	再評価時	増 減																																																
堤体工	125.0 m	115.5 m	9.5 m																																																
取水施設工 (洪水吐工兼用)	1 箇所	1 箇所	0 箇所																																																
底樋工	22.0 m	23.4 m	1.4 m																																																
事業費	<p>当初計画時総事業費 160 百万円 (単位：百万円)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>~ 14年度</th> <th>15年度</th> <th>16年度</th> <th>17年度</th> <th>小 計</th> <th>18年度~</th> <th>合 計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>計 画</td> <td>107</td> <td>40</td> <td>2</td> <td>5</td> <td>154</td> <td>5</td> <td>159</td> </tr> <tr> <td>(うち用地費)</td> <td>(0.1)</td> <td>()</td> <td>()</td> <td>()</td> <td>(0.1)</td> <td>()</td> <td>(0.1)</td> </tr> <tr> <td>年 月変更</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>実 績</td> <td>107</td> <td>40</td> <td>2</td> <td>5</td> <td>154</td> <td>5</td> <td>159</td> </tr> <tr> <td>(うち用地費)</td> <td>(0.1)</td> <td>()</td> <td>()</td> <td>()</td> <td>(0.1)</td> <td>()</td> <td>(0.1)</td> </tr> </tbody> </table>				~ 14年度	15年度	16年度	17年度	小 計	18年度~	合 計	計 画	107	40	2	5	154	5	159	(うち用地費)	(0.1)	()	()	()	(0.1)	()	(0.1)	年 月変更								実 績	107	40	2	5	154	5	159	(うち用地費)	(0.1)	()	()	()	(0.1)	()	(0.1)
	~ 14年度	15年度	16年度	17年度	小 計	18年度~	合 計																																												
計 画	107	40	2	5	154	5	159																																												
(うち用地費)	(0.1)	()	()	()	(0.1)	()	(0.1)																																												
年 月変更																																																			
実 績	107	40	2	5	154	5	159																																												
(うち用地費)	(0.1)	()	()	()	(0.1)	()	(0.1)																																												

2 評価指標及び項目別評価

(1) 事業の進捗状況

(A) ・ B ・ C

事業の進捗状況	事業費割合		計画全体に対する進捗	年次計画に対する進捗
	(うち用地費)		96.9 % [/]	100 % [/]
			(100 %) [/]	(100 %) [/]
	主要工種	堤 体 工 (90百万円)	97.6 %	97.6 %
毎割合	取水施設工 (12百万円)	100 %	100 %	
(事業費)	底 樋 工 (25百万円)	100 %	100 %	
説 明	平成 1 7 年度で堤体工が完了し、平成 1 8 年度に安全柵などの付帯設備を実施し事業完了の予定となっており、計画どおりに進捗している。			
問題点・解決見込み	地質調査の結果、堤体の基礎に当初予期しなかった軟弱層が確認されたため、平成 1 3 年度から平成 1 6 年度まで、沈下状況を検証しながら段階的に堤体の盛土を実施した。この結果、平成 1 6 年度で沈下が収束したことから平成 1 7 年度で堤体工を完了することとなっている。			
事業効果発現状況	取水施設工 (洪水吐兼用)、底樋工は平成 1 4 年度までに完了、暫定供用をしている。			

(2) 社会経済情勢の変化

(A)・B・C

社会的評価	全国・本県における評価	<p>【全国の評価】</p> <p>近年、ため池等の農業水利施設が有する洪水防止等の多面的機能について国民の関心が高まってきている。本事業は、ため池を改修しその機能の維持および保全を図るものである。</p>	<p>【県内の評価】</p> <p>本県農業は県経済を支える基幹産業であり、安定した生産活動を行っていく上で用水の確保は不可欠である。また、近年、農業用ため池が有する洪水防止効果及び自然環境の保全などの多面的機能の維持、農業生産性の向上、地域農業の活性化、さらに県の推進する「水循環システムの再生・保全」を進めるうえで本事業実施の必要性が高い。</p>
	当地区における評価	<p>本事業により、決壊が懸念されるため池を改修し湛水被害を未然に防止するとともに、安定的なかんがい用水を確保するものである。</p> <p>また、本ため池の整備に当たっては、平成16年度に完成した県営サビシロ地区地域用水環境整備事業で、ため池及び周辺の自然環境を活かした整備が一体的に進められており、ため池の有する多面的機能が十分発揮されている。</p> <p>なお、平成17年度から本ため池の維持管理はつがる市のほか、地域住民がゴミ拾い・清掃・草刈り等の日常管理を行う。</p>	
必要性	<p>本事業は、ため池決壊による農地、農業用施設、公共施設等への被災を未然に防止するため、老朽化したため池の堤体、取水・洪水吐施設、底樋を一体的に改修し、農業用水の安定的な確保と多面的機能の維持・保全を図る必要がある。</p>		(a)・b
適時性	<p>平成12年に旧車力村で策定した「第6次長期総合開発計画」及び「田園環境マスタープラン」によれば、『個性豊かなむらと自然をみらいに』をキャッチフレーズに、</p> <ul style="list-style-type: none"> ・村の発展を支える基礎的條件の整備を図る。 ・安心できる生活と快適な生活環境の確保を図る。 <p>ことが基本施策として掲げられ、本事業と併行して、県営サビシロ地区地域用水環境整備事業（平成13年度～平成16年度）により周辺整備を行い環境に配慮した一体的整備が行われた。</p>		(a)・b
地元の推進体制等	<p>同意率は100%（20人/20人）で、地元負担金は、つがる市が全額負担することとなっており、積極的に市が関与し事業の円滑な推進を図っている。</p>		(a)・b
効率性	<p>ため池の多面的機能が十分発揮されているほか、地域住民のボランティア活動など意識の高揚にも寄与している。</p>		

(3) 費用対効果分析の要因変化

(A)・B・C

区分	主な項目	当初計画時	再評価時	増減
費用項目 (C)	(1)堤体工	71.3 百万円	89.9 百万円	18.6 百万円
	(2)取水施設工	19.5 百万円	11.8 百万円	7.7 百万円
	(3)底樋工	44.2 百万円	25.3 百万円	18.9 百万円
	(4)その他経費	33.0 百万円	40.0 百万円	7.0 百万円
	(5)	百万円	百万円	百万円
	総費用	168.0 百万円	167.0 百万円	1.0 百万円
便益項目 (B)	(1)減産防止額	6.0 百万円	百万円	6.0 百万円
	(2)維持管理費節減額	9.0 百万円	0.2 百万円	8.8 百万円
	(3)防災効果額	21.0 百万円	637.3 百万円	616.3 百万円
	(4)更新効果額	135.0 百万円	百万円	135.0 百万円
	(5)	百万円	百万円	百万円
	総便益	171.0 百万円	637.5 百万円	466.5 百万円
B / C		1.02	3.82	
<p>【費用対効果分析手法】(分析手法、根拠マニュアル等)</p> <p>農林水産省構造改善局長通達（土地改良事業における経済効果の算定方法）</p> <p>【費用対効果分析における特記事項】</p> <p>平成14年度の農地防災事業の効果算定方法の変更に伴ってB/Cが向上した。</p>				

(4) コスト縮減・代替案の検討状況

(A)・B・C

コスト縮減	<p>【コスト縮減の検討状況】</p> <p>護岸工の基礎材および裏込材には再生砕石、道路工の復旧材には再生砕石、再生アスファルトを使用し、コスト縮減を図っている。</p>	(a)・b
代替案	<p>【代替案の検討状況】</p> <p>ため池の工法決定に当たっては、経済性や維持管理の容易性などを総合的に検討し、後背部の県道に影響を与えないよう整備した。</p> <p>本ため池の改修に当たっては、学識経験者や地域の代表者で組織された「サビシロ沼地区地域用水環境整備事業検討委員会」の助言を受け、自然の生態系（動植物）に与える影響を極力抑えた。</p>	(a)・b

(5) 評価に当たり特に考慮すべき点

(A)・B・C

住民ニーズの把握状況	<p>【住民ニーズの把握方法】</p> <p>事業実施に当たっては関係農家から同意を徴収しているほか、サビシロ沼周辺の各集落を対象としたアンケート調査をつがる市（旧車力村）が実施している。</p>	<p>【住民ニーズ・意見】</p> <p>同意率は100%（20人/20人）となっている。</p> <p>なお、アンケート調査により、ため池本体と親水施設、周辺環境整備・保全の一体的な事業実施が地域住民から望まれていたことや、「サビシロ沼地区地域用水環境整備事業検討委員会」の検討を受け、先行して県営サビシロ地区地域用水環境整備事業を実施した。</p>	(a)・b		
環境影響への配慮	<p>【地域別環境配慮指針への対応】</p> <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <tr> <td>地域区分</td> <td>TN4b</td> </tr> </table> <p>(1)対応状況 配慮している 配慮していない</p> <p>(2)対応内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・堤体工事区域内に自生しているハスは、工事の影響のない区域に移植し、その結果、活着し自生範囲が拡大した。 ・ジュンサイについては、生育に悪影響を与えないよう水面確保と濁水流入防止のための仮設土塁を設置した。 ・落水による水中動植物への影響を防ぐため、仮締切工を実施し、工事区域を除くため池の水面を確保した。 	地域区分	TN4b	<p>【開発事業等における環境配慮指針への対応】</p> <p>(1)対応状況 配慮している 配慮していない</p> <p>(2)対応内容</p> <p>ジュンサイ園下流に水位低下時の水面確保のため伐採自然木の詰杭工、ため池周辺の転落防止柵には間伐材加工品の木製品を使用する。</p>	(a)・b
地域区分	TN4b				
地域の立地特性					

3 対応方針（事業実施主体案）

総合評価	継続 計画変更 中止 休止（林政課及び漁港漁場整備課所管事業に限る）
評価理由	本事業は、決壊が懸念される老朽ため池の改修による安全安心な生活環境の創造、安定した農業用水の確保による生産性の向上や農業の活性化等、地域に果たす役割が非常に大きいことから、平成18年度の完成に向けて継続して実施する。
備考	

4 公共事業再評価審議委員会意見

委員会意見	対応方針（案）どおり 対応方針（案）を修正すべき
委員会評価	継続 計画変更 中止 休止（林政課及び漁港漁場整備課所管事業に限る）
附帯意見	
評価理由	